

SeinanVisMoot

公開 実戦練習



2018年度SeinanVisMootメンバー



2017年度ウィーン大会



2017年度ウィーン大会



2017年度日本大会



2017年度日本大会表彰式

Vis Moot は、毎年春、ウィーン・香港をメイン会場に世界各地で開催される **模擬国際仲裁大会** です。国際取引上の架空の紛争について、売主・買主の弁護士に扮して、仲裁人の前で**法律**を武器に戦います。出題も弁論もすべて**英語**です。

ウィーン大会・香港大会出場を目前に控え、本番に近い緊張感の中で練習し、また高校生の皆さんをはじめ多くの方々にVisMootを知ってもらうために、今年も、弁護士の先生をゲストにお迎えして、公開実戦練習を行うことになりました。

法律って難しそう、英語なんて無理・・・大丈夫！
SeinanVisMootのメンバーがフォローしますので、安心してご参加ください。皆様のお越しをお待ちしています。

ゲスト： 紫牟田 洋志（紫牟田国際法律事務所/日本・NY州弁護士）
David Lauscher（NY州弁護士、元NY州検事）
平野 豪介（高田総合法律事務所/日本弁護士/本学法科大学院卒）

日時

2019年3月27日 **水**

14:00～17:00

場所

西南学院大学図書館1階 プレゼンテーションエリア

内容

14:00 -14:30 ご挨拶／事案とあらすじの紹介
14:40 -15:40 第一試合(英語)および解説(日本語)
15:50 -16:50 第二試合(英語)および解説(日本語)

前日までに登録が必要です

登録は下記URL もしくはこちらから
<http://ur0.link/ZUFI>



VisMoot とは？

Vis Moot は、*The Annual Willem C. Vis International Commercial Arbitration Moot*(模擬国際仲裁大会)の略、全世界の法学部・ロースクール学生のための、国際的に著名な法律弁論大会です。1993年より毎年、復活祭の約1週間前の時期にオーストリア・ウィーン、および香港で開催されており、世界の法曹界において、国際弁護士の登竜門ともされています。ケンブリッジ大、ハーバード大、北京大といった著名な大学をはじめ、世界80か国以上から約360校が集まります。

仲裁とは、裁判所を用いない紛争解決方法です。企業間の国際取引実務において紛争が生じた場合、どこか特定の国の裁判所を用いるのではなく、当事者の合意に基づき、世界各地にある仲裁機関で紛争を解決することが頻繁に行われています。VisMootでは、国際的売買取引から生じる架空の紛争を題材に、参加チームはそれぞれ、仲裁を求める企業と相手方企業の代理人弁護士に扮し、実際の仲裁さながらに争っていくことになります。

英語が使用言語(日本大会日本語の部を除く)。例年10月、約60ページにおよぶ証拠等が問題として与えられます。参加者は、国際取引に関連する法律を使って主張を説得的にまとめあげ、約30ページの準備書面を作成して提出します。大会ではこれをもとに、仲裁人役の前で主張し、仲裁人の質問に応答します。まさに、「読み・書き・聴き・話す」という英語四技能を丸ごと鍛え、しかも、法律を実践的に学べます。1期生から3名が法科大学院に進学しています。

こちらから今年度の問題がダウンロードできます▶



SeinanVisMoot は2017年に西南学院大学法学部の学生により設立されました。法学部で2003年から1年次教育として取り入れているディベートを基礎に、「語学の西南」ならではの充実した英語教育を生かし、学外からも若手国際弁護士をコーチに迎えて活動しています。

初年度は、日本大会初挑戦で日本語の部チーム優勝を果たし、最優秀弁論賞(個人賞)も受賞、ウィーン大会ではスタンフォード大をはじめドイツ・インド・フランスの大学と戦いました。2018年度も先日の日本大会でチーム**2連覇**を達成(日本語の部。2位同志社大、3位一橋大)、最優秀弁論賞も受賞しました。これから続く香港大会、ウィーン大会に向け、1年生から4年生まで22人が チーム一丸となって頑張っています。

SeinanVisMoot とは？